



だい かん ちやう かい だい に こ ち ん
大管長会第二顧問
ヘンリー・B・
アイリング管長

し ん で ん あ い 神殿を愛する

し ん で ん 殿は、わたしたちが神のみもとを愛するよう
神になるのを助けてくれます。子供たちがおさ
ないときには特にそうです。子供たちは神殿が神聖
であると感じることができます。

エズラ・タフト・ベンソン大管長は少年のころか
ら、神殿が大切であることを知っていました。ベン
ソン大管長は、母親が神殿の服に丁寧にアイロンを
かけるのを見ていました。家族が神殿に参入するた
めに出かけるのを見送りました。

預言者だったとき、ベンソン大管長は毎週神殿に
参入しました。いつも先祖のために神殿の儀式を受
けていました。

みなさんも、今から神殿を愛することを学べます。
家に神殿の写真をかざっている人もいるでしょう。
多くの人が、神殿の敷地をおとずれることができま
す。神殿が完成したときに行われるオープンハウス
に参加できる人もいます。

神殿のおかげで、わたしたちは家族と永遠に一緒
に住めるという望みを持てるのです。●

このお話は、「主の御霊がとどまる家庭」『リアホナ』2019年5月号、
22 - 25 をもとに書かれました。

